

KSKP

No. 1

障害者情報クラブニュース

1991.9.10

櫻井周氏の 発刊に寄せて

従来の街づくりは、産業構造基盤の整備が優先し、ハンディを持つものの身に立って配慮されていません。

81年の国際障害者年以来、ハード面については身障者用トイレ・公衆電話等が作られ、又ソフト面では地方公共団体による福祉都市施設整備要綱等が作られてきました。しかしこれで、ハンディを持つものが、安全に一人で外出できる様な環境になったでしょうか。

『いいえ』現実には、まだ外出するのに不安があり、どうしても不便を感じずにはいられません。一例が歩道橋です。歩道橋は、歩行者の安全の為にという理由で作られましたが、高齢者・病人・障害者等にとっては、ゆるやかスロープといえど角度がある以上大いに肉体的負担を強いられる極めて厄介な建造物です。そ

の外、高架の駅・駅前の自転車等により自由に行動出来る範囲を狭めています。

ここ数年、街で障害者を見かけることが増えてはきましたが、自由に外出できる者は障害者全体の数から言えば氷山の一角にしか過ぎません。自立することの許されない者が数多く、家庭や施設で保護という名のもとに隔離されています。又、急速な高齢化社会が進む現在、ハンディを持つものは、増えることは有っても減ることは無いでしょう。又、健常者であっても、病気やけがなどによって一時的に車いす、松葉杖などを使わなければ成らない事もあり、今や誰もが一生に一度は大なり小なりハンディを持つ可能性があるのです。

ハンディをもつものが、道を歩き、電車やバスに自由に乗り、自由に街へ出て行けてこそ社会参加ができ、自立できるのです。

街は、そこに住む人々と

地方自治体が共に考え、だれもが住みやすい生活環境をめざしていくものです。そのためには、ハンディを持つものが旗手となりあらゆる機会を作り社会に訴えていきましょう。

障害者情報クラブでは、設立以来その手段として次のことを、行なっています。

1. 車いすウォークラリー
2. 車いすガイドビデオの制作
3. 車いすガイドブックの制作

そして、機関紙「障害者情報クラブニュース」が、できました。

今後も、ご支援のほどよろしくお願ひします。

（代表：井上聖）



設立以来の歩み

- 1989年 8月19日 設立準備期間中に産経新聞に「宝塚市車いすガイドブック準備委員会」として登場
- 10月28日 障害者情報クラブ設立総会(総合福祉センター)
- 12月22日 親睦会(庄屋)
- 1990年 4月 7日 岸本博之氏(姫路福祉マップをつくる会)講演会(総合福祉センター)
- 7月31日 宝塚市ボランティア・サマー・カレッジで井上が講演(中央公民館)
- 8月 3日 役員親睦会(庄屋)
- 9月 9日 宝塚市ボランティア初心者セミナーで講演・ビデオ上映会(東公民館)
- 9月 メインストリーム協会と情報交流開始
第1回車いすウォークラリーが産経新聞で紹介
- 9月23日 第1回車いすウォークラリー開催(山本・平井)
- 12月 1日 ウォークラリーのビデオ完成
- 12月23日 親睦会(庄屋)
- 1991年 1月29日 宝塚市職員障害者問題研修会で坂上が講演・ビデオ上映会(市役所)
- 2月 プラス・ワン(津市)と情報交流開始
- 3月17日 岸本博之氏(姫路福祉マップをつくる会)訪問
姫路セントラルパークでレクリエーション
- 3月21日 宝塚市民福祉のつどいで講演(藤原)・協力(井上、坂上、福井よ)
- 4月 4日 坂上が産経新聞に登場
- 4月27日 車いすガイドブック取材開始(～継続中)
- 5月 2日 車いすガイドブック制作のプレス・レクチャー(市役所)
- 5月 3日 車いすガイドブック制作が毎日、産経、読売で紹介(後日、神戸でも)
- 5月10日 宝塚市肢体障害者協会と共同で正司市長と面会、共同要望を伝える
- 5月 宝塚市と車いすガイドブックの制作契約
- 5月25～26日 外出介助ボランティア養成講座に協力
- 6月16日 第2回総会
- 8月24日 宝塚まつりでレクリエーション

私たち障害者情報クラブの前身は、1989年9月23日に開催された「車いす市民全国集会・宝塚分科会」の実行委員会です。私たちはこのとき、宝塚市内各地の施設の車いすでの利用状況をビデオ(題:「街

角・ちょっとへん!?)に撮って上映し、それをもとに大学の先生等の街作りの専門家や市役所の方々を招いて宝塚の街作りについて有意義な議論をすることができました。また、遠来の宿泊者の便宜を図るため

に市内中心部の簡単な車いすガイドマップも作成しました。私たちは、このビデオ作りや車椅子ガイドブック作りで、障害者には、情報の“量”が決定的に少ないということを実感しました。宝塚市内には僅かでは

ありますが、車いすで自由に利用できる施設があります。しかし、そのことは、殆どの車いす利用者には知らされていませんでした。「外出しないからわからないんや」という意見もあると思いますが、私たちは「分からぬから外出できない」或いは「外出する術も知らない」のが大部分の今の障害者の現状だと思っています。私たちは、この思いから、またビデオ作りやマップ作りの成果をこれきりにしたくないという思いから、1989年10月28日に**障害者情報クラブ**を設立しました。

私たちは、障害者の情報の量を増やすための手立てとして、手始めにビデオ(仮称)「街角・ちょっとへん!?」(全市版)と(仮称)「宝塚車いすガイドブック」を作りました。

「街角・ちょっとへん!?」(全市版)は、車いすで外出する際の情報収集の手立てとして、車いすの利用者に役立つ情報を収集して、それをビデオやマップとしてまとめたものです。また、「宝塚車いすガイドブック」は、車いすで宝塚市内を観光する際の情報収集の手立てとして、車いすの利用者に役立つ情報を収集して、それをビデオやマップとしてまとめたものです。

現在は、車いすガイドブックの取材活動を継続する一方で好評だったウォークランナーの第2回目の準備も進めています。

(文責:事務局)

建一式工事 中武建設工業

宝塚市大原野字下岡21-1

本社 TEL 0797-91-0300

第2回車いすウォークラリーに御参加を

日 時 1991年10月6日(日) / 雨天の場合は13日(日)に順延

* 天候急変の場合は小浜小学校へ避難

* 中止の決定の確認は事務局まで

場 所 集 合: 市立病院東駐車場(スタート地点)

駐車場: 市立病院南駐車場(4時間まで100円、以後30分おきに100円加算)

内 容 9:00~ 受付(市立病院東駐車場)

9:30~ 開会式、オリエンテーション、介助講習

10:00~ ウォークラリー

12:30~ 昼 食

14:30~ 演奏会、バザー等のアトラクション

15:30~ 閉会式、表彰

コース 市民病院を出発し、宝塚市小浜地区周辺を廻る3km位のコース

身障者用トイレは市民病院と皇太神社(仮設)にあります

対 象 心身障害者・児、その家族、同伴・介助していただける方なら誰でも
中学生高校生

参加費: 500円(昼食費、当日受付にて)

連絡先: 障害者情報クラブ事務局 坂上正司(さかうえただし)

宝塚市中筋8-19-7 ☎ 0797-89-8229 FAX 88-0779(自動)

*参加者募集は9月末まで。

ボランティア希望者の説明会は、9月21日、29日。

今年のウォークラリーは
小浜周辺で行ないます。昨
年の反省を踏まえて充実し
たものになるよう準備を続
けている最中です。参加希
望者やボランティア希望者
は、お友達などとお誘い合

わせの上なるべく早い目に
申し込んで下さい。
尚、ボランティアと言つ
ても障害者の介助だけでな
く、食事の準備やバザーな
どをお手伝いいただくもの
も有りますので希望を仰っ

てください。できるだけご
希望にお応えできるように
します。

第1回車いすウォーク・ラリー報告

1990年9月23日(日)、宝塚市立共同利用施設山本会館(阪急宝塚線山本駅より徒歩2分)を中心とした山本・平井地区周辺で、「第1回車いすウォーク・ラリー」を開催しました。当日は天候にもめぐまれ、汗ばむくらいの秋空の下、車いす利用者18名、下肢障害6名、聴覚障害2名、視覚障害3名、ちえおくれの障害者1名にスタッフまで合わせて総勢120名余りの参加があり、楽しい秋の一日となりました。

午前10時、山本会館で予定より10分遅れの開会式。開会式は、藤原広報部長の司会で、友金宝塚市長(当時)の挨拶、井上代表の歓迎の挨拶、坂上事務局長のゲームの説明と進められました。

ウォーク・ラリーは、開会式終了後すぐに、グル

ープ別に逐次スタート。参加者は、コマに区切った地図を頼りに10カ所のチェック・ポイントを廻って、スタート地点へ帰ってくることになっているのですが、予想した所用時間にいかに近い時間で廻るかということも競技の点数になります。ところが、地図が悪いのか、地図の見方が悪いのか、全く違うコースを通りているグループが何グループかありました。しかし、そんなグループでも、重要なチェック・ポイント、例えば、ジュースがもらえるチェック・ポイントや史跡のあるチェック・ポイント(松尾神社や大宝寺、木接太夫碑)はきっちりとまわっているのだから不思議なものです。参加者は、ただ歩いているだけでなく、各チェック・ポイントで史跡の歴史についての説明を聞いたり、ゲ

ームをしたりしながら進んでいくのでなかなか飽きないものになっています。當時自動車での巡回があったり、途中の踏切などの危険箇所には立ち番がいるなど安全対策も充分。そんな中、暑さでリタイアしたグループも2グループあったものの、20グループが完走しました。

ウォーク・ラリー終了後、バーベキュー・パーティーと続き、参加者は焼き立ての肉、野菜、おにぎりなどに舌鼓を打っていました。その間も、バンド演奏、バザーとアトラクションも盛況でした。

午後2時に近づき、閉会式が行なわれ、ウォーク・ラリーの成績発表と賞品授与(1等は特級酒)、井上代表の挨拶で幕を閉じました。

アピア3 ブルドックランド

関西都市再開発株式会社逆瀬川支店

宝塚市逆瀬川1-13-1 アピア3内

電話:0797-73-8860 FAX:73-8536

外出介助の会だより

○ 外出介助の会とは?

皆様の周りに、いろいろな理由から、残念ながら外出をあきらめている方いらっしゃる方はおられませんか。そういう方のお手伝いを通して、お互の交流を深めたいと考えているボランティア

グループがあるのです。

それが「宝塚外出介助の会」です。

宝塚市内のお一人で外出することが困難なお年寄りや障害を持たれた方について公的にカバーし切れない部分の外出のお手伝いをいたします。

どこか行きたいところがあるって、誰かと一緒にに行つて欲しいと思われたら、宝塚ボランティア活動センター(でんわ0797-81-2443)へお申込みください。

例えば、

● こんな方が

- 1, 車いすを押して欲しい人
- 2, 歩けるが、体力や視力、言葉が不安なので付き添って欲しい人

● こんな時に申込んでください。

- 1, 病院や役所などに行きたいとき
- 2, 趣味やその他の会合に行きたいとき
- 3, 買物や散歩、友人宅に行きたいとき
- 4, ホームヘルパー、ガイドヘルパー等の制度を活用できないとき

外出介助の会は生れて2年半、会員は32名になりました。介助される側の有志の人も会員になっています(強制はされません)から、介助する側、される側両方の立場が分かるグル

ープとして、ボランティア体験学習の講師団として最適と、よく、お呼びが掛かります。

なお、外出介助を依頼される場合、ボランティアですから介助費は無料ですが、

交通費は介助者の分もご負担いただいております。

(長谷川久美子宝塚外出介助の会前会長)

外出介助の会は、車いす市民全国集会宝塚分科会をはじめ、車いすウォークラリー、車いすガイドブック制作など障害者情報クラブの各種行事のお手伝いをしていただいてます。これからも折に触れてその活動内容などを掲載していきます。

三木楽器株式会社
MIKI GAKKI CO., LTD.
豊中営業所

郵便番号 562-0823 水谷ビル2階
豊中市北内西町2-22-3 電話 (06) 336-2444 番
YAMAHA

第10回車いす市民全国集会・愛媛

障害者情報クラブの活動の切っ掛けになった「車いす市民全国集会」が今年11月に愛媛で開催されます。この集会は年を追う毎に参加者も増え、内容も充実して、その対象も車いす利用者の枠を超え、障害者全体に広がりつつあります。

1. 目的

愛媛集会では、第1回仙台集会から第9回兵庫集会までの話合いをふまえ、社会の変化に伴って、少しづつ多様な生き方が選べるようになった障害者が、社会の中で一人の市民として生活するには、何か問題なのか？ 私たち障害者自身が何を望み、また、何を望まれているのかについて議論を深めたいと思います。

2. 日程

11月2日(土) 12時30分～受付開始
全体会、交流会

11月3日(日) 9時～17時 分科会

11月4日(月) 9時～13時 全体会

3. 場所

松山市総合コミュニティセンター

松山市総合福祉センター(一部の分科会)

4. テーマ

「あたりまえに、そして人間として」
-生活と地域を見つめて-

5. 分科会

- ①街づくり ②移動と交通 ③言葉とコミュニケーション ④女性障害者問題
- ⑤施設問題 ⑥介護者問題 ⑦障害者と性 ⑧グループホームとケア付き住宅

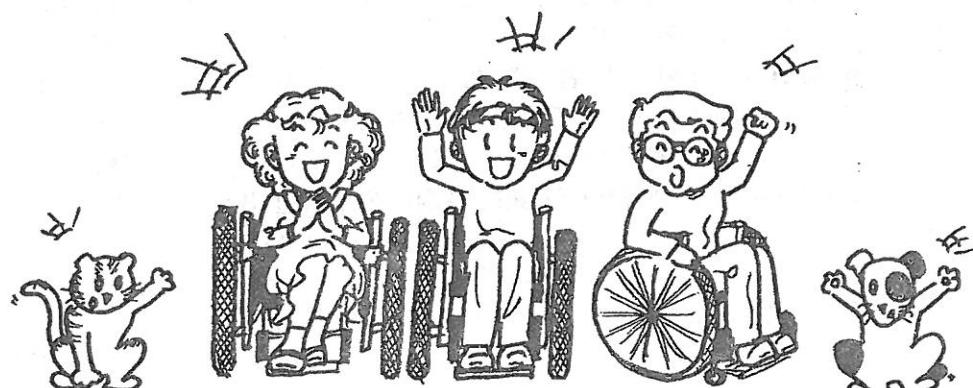
6. 費用

参加費 7,000円(交流会、資料費込)
宿泊費 5,000円

7. 連絡申込先

〒790 松山市中央郵便局私書箱45号
第10回車いす市民全国集会愛媛
実行委員会事務局
☎ 0899-43-0735(薬師神方)
☎ 0899-45-8216(田島方)

申し込みは、事務局へ申し込み用紙を請求し、9月末日までに申し込み用紙と参加費を送付する事で完了します。詳しくは実行委員会事務局へ。



発行人・西日本新聞社
四八八年八月二十日第三種郵便物認可(毎日大阪行)
西障害者定期刊行物協会
〒五三七大阪市城東区中浜三丁目一三三緑橋グリーンハイツ1F
アド企画 気付 頒価 五百円
印

吟詠十句 中村文夫

車いす一人がかりで押し上げる

愛妻が見えぬ不自由を忘れさせ

何もかも手伝う福祉いやがられ

寒くとも杖は手袋大嫌い

盲人のぐちは奥歯でかみくだき

想像を消せば盲人骨ばかり

働いて学ぶ点字の灯は消えず

幸せは頼りにされて生きる杖

心まで洗われそうなボランティア

三療の夜明けとなつたアハキ法

車いすガイドブック編集ボランティア募集

現在宝塚市の依託事業として行なつていい車いすガイドブックの制作も取材を90%終了し、ウォークラリー終了後いよいよ編集作業に入ります。現在、地図やイラストなどを描いていただけるボランティアを募集しています。我こそはと思う方は、この際思い切って名乗り出て下さい。連絡は事務局まで。

会員募集

障害者と健常者が一緒になって障害者問題に取り組む障害者情報クラブの会員にならなれませんか。年会費は2,400円。活動はできないけど財政的な援助ならという方は賛助会費として一口2,000円。いずれも事務局に御連絡の上、郵便振替または銀行振込にて会費をお支払い下さい。

目次：機関誌の発刊に寄せて…井上聖…1，設立以来の歩み…事務局…2，第2回車いすウォークラリーに御参加を…4，第1回車いすウォークラリー報告…5，外出介助の会だより…6，第10回車いす市民全国集会・愛媛…7，吟詠十句…中村文夫…8

『KSKP 障害者情報クラブニュース1』 1991.9.10

編集者：障害者情報クラブ広報部

編集責任者：障害者情報クラブ代表 井上聖

本部・事務局：〒665 兵庫県宝塚市中筋8-19-7（坂上正司方）

☎ 0797-89-8229 FAX 88-0779(自動)

銀行振込口座：太陽神戸三井銀行 逆瀬川支店 普通 3566211

「ショウガ シヤジ ヨウホウカラ」 イノウエヨシ

障害者情報クラブ 井上聖

郵便振替口座：神戸 2-45964 「障害者情報クラブ」

頒価 五百円